

# 令和 6（2024）年度 事業報告

令和 6 年度は、前中期経営計画の最終年度であり、新型コロナウイルスの影響もなくなったことから、運営について創意工夫を図り、その最終目標に向けて様々な取り組みを行った結果、経営目標のすべての項目で目標値を上回った。

入館者総数は、73,681 人（前年度：72,543 人）と展示リニューアルした平成 27 年度に次いで高い水準となった。また、中期経営計画の主要な指標である大阪府内公立小中学校の来館率（来館校数）は、31.4%（440 校）（前年度：30.0%（421 校））となり、リニューアル後最高となった。

平素より小中学校の来館に際しては、アンケートを行うなどそのニーズの把握に努めており、校外学習の時期や曜日が集中することで混雑により平和学習の質の低下にならないよう、予約段階から入館調整による分散を図り、快適な環境で見学ができる場を提供するよう努めた結果、小中学校の平和学習到達度（学校満足度）は、94.6%と高い評価を得た。

加えて、これら小中学校の来館促進を図るため、校長会等での PR や、教員等の平和・人権研修等の積極的な誘致にも力を入れ、当館の認知度を高める機会の確保に努めた。

世界各地で紛争が続く中、世界的規模で平和への意識が高まり、当館の果たす役割が益々重要になっており、主催事業として、大阪大空襲の日など節目の時期に平和祈念事業を 4 回、他機関と連携した特別展示を 5 回実施した。

また、戦争の悲惨さ・平和の尊さを次世代に伝えていくため、戦争体験者の証言映像を記録した DVD を追加制作するとともに、講堂での上映会なども行った。

また、前年度に文化庁の補助金を活用して制作した平和学習デジタルコンテンツ「戦争と人々の暮らし」について、教員向け説明会やチラシ配布等によりその周知を図った結果 130 校の利用があった。令和 6 年度はさらに、コンテンツ内の素材写真や機能の追加を行った。

施設面では、耐用年数を経過していた館内エレベーターや 2 階プロジェクターの更新を行うとともに、増加する外国人からの要望が多かったキャッシュレス機能付き券売機の導入を図るなど、来館者の快適に入館、見学いただける環境整備に努めた。

## 1. 展示事業

### (1) 常設展示

必要に応じて、適宜、アップデートに努めた。

#### 2 階展示室

- A ゾーン：昭和 20 年、大阪は焼き尽くされた
- B ゾーン：世界中が戦争をしていた時代
- C ゾーン：戦時下の大阪の暮らし

#### スロープ

空襲体験者の「証言と体験画の回廊」

### 1 階展示室

Dゾーン：多くの犠牲を出し、焼け野原になった大阪

### 3 階展示室

Eゾーン：たくましく生きる大阪

Fゾーン：私たちの未来をつくっていくために

### 映像コーナー

### 図書室

### 映画の定時上映（講堂）

## (2) 特別展示

所蔵資料の活用や関係機関・団体の協力を得ながら実施した。

### ①「ワルシャワ。灰の中から甦る不死鳥」

〈趣 旨〉 ポーランドにあるワルシャワ蜂起博物館による特別展。

第二次世界大戦によって破壊しつくされた首都ワルシャワの街、そして瓦礫から今日の現代的な大都市に生まれ変わる街の姿など、ワルシャワ蜂起の歴史をパネルと映像で紹介した。

開催初日には駐日ポーランド共和国大使館大使、ワルシャワ蜂起博物館館長や大阪府・大阪市関係者などを招待し、オープニングセレモニーも行った。

（主催：ワルシャワ蜂起博物館、ワルシャワ市、共催：ピースおおさか）

〈期 間〉 4月16日（火）～7月14日（日）

〈内 容〉 写真解説パネルや映像展示など

〈参加者〉 18,890名

### ②「キュラソー・ビザ ―ズワルテンダイク・オランダ領事と「命のビザ」の知られざる原点―

〈趣 旨〉 「命のビザ」の原点となる「キュラソー・ビザ」。それを生み出した中心的存在であるヤン・ズワルテンダイク・オランダ領事をはじめとした人々に着目し、その知られざる物語を紹介した。

（共催：駐日オランダ王国大使館）

〈期 間〉 8月24日（土）～9月22日（日）

〈内 容〉 写真解説パネル展示など

〈参加者〉 5,108名

### ③「終わらなかった戦争 モノとマンガで知るシベリア抑留」

〈趣 旨〉 シベリアを始めとする旧ソ連やモンゴルにおいて、強制労働に従事させられた戦後強制抑留者（シベリア抑留者）たちがラーゲリ（収容所）で使用していたモノを、漫画家・斎藤邦雄氏が描いたマンガ作品をまじえて紹介した。また、大阪出身の抑留者が家族と交わした郵便葉書や日本国内での帰還促進運動に関する資料も展示した。

（主催：平和祈念展示資料館（総務省委託）、ピースおおさか）

＜期 間＞ 10月1日（火）～12月27日（金）

＜内 容＞ パネルや映像、実物資料展示など

＜参加者＞ 24,627名

#### ④「SDGs とユニセフ ～子どもたちの命と健康と未来を守る～」

＜趣 旨＞ ユニセフ戦略計画の主要課題である「栄養」「保健」「教育」「水と衛生」に焦点を当て、関連するSDGs 課題の達成状況、世界の子どもたちの置かれた状況とユニセフの支援について紹介した。

（協力：大阪ユニセフ協会）

＜期 間＞ 1月18日（土）～2月16日（日）

＜内 容＞ 写真解説パネル展示など

＜参加者＞ 7,946名

#### ⑤ 大空襲80年特別企画「大阪空襲 ～80年前の記憶～」

＜趣 旨＞ 空襲体験者たちは、自分たちの記憶を後世に伝えるために「証言」や「体験画」というかたちにして残した。

大空襲80年特別企画として、空襲体験者の証言を紹介し、その証言に関係した体験画をあわせて展示した。

＜期 間＞ 3月1日（土）～30日（日）

＜内 容＞ パネルや映像展示

＜参加者＞ 3,864名

### (3) その他の展示

いのちへのメッセージ、学校から寄贈された千羽鶴

### (4) ワークショップスペース(3階)の有効活用

学校と連携した平和学習に関する資料の展示など有効活用を図った。

## 2. 企画事業

アンケート結果も踏まえつつ、当館の発信力を強化し、魅力ある事業の展開に努めた。

### (1) 平和祈念事業

終戦、開戦、大阪大空襲など節目の時期に、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会として、集客力のある多様なイベントを開催した。

#### ① 終戦の日平和祈念事業

＜実施日＞ 8月15日（木） 午後2時～午後3時20分

「戦争犠牲者追悼式と平和コンサート」

・内 容：黙とうと平和コンサート（協力：学校法人相愛学園）

相愛大学音楽学部卒業生によるピアノ三重奏

相愛中学校・相愛高等学校音楽科生徒による合唱

菊一輪 献花（刻の庭）

・参加者：146名

#### ② 開館の日平和祈念事業

＜実施日＞ 9月15日（日） 午後2時～午後3時30分

シンポジウム「キュラソー・ビザ、命のビザ、貢献者の輪」

（共催：駐日オランダ王国大使館）

・内 容：特別展紹介

説明者：オランダ王国大使館

基調講演（事前収録）「キュラソー・ビザ、命のビザ、貢献者の輪」

講演者：北出明

講演「貢献者のレガシーを次世代へ」

講演者：西川明德（人道の港 敦賀ムゼウム館長）

・参加者：88名

### ③ 開戦の日平和祈念事業

＜実施日＞ 12月8日（日） 午後2時～午後4時

「落語と平和 ～ピースおおさか平和寄席～」

・出演者：桂春團治、林家花丸、桂春雨、月亭遊真

・参加者：120名

### ④ 大阪大空襲平和祈念事業

＜実施日＞ 3月9日（日） 午後2時～午後3時15分

大空襲80年特別企画 講演会「大阪が燃えた夜から80年 二米軍資料が明かす大空襲の真相」

・講演者：松本泉

・参加者：145名

## (2) ウィークエンド・シネマ

・日 時：毎週土曜日 午後2時～

・内 容：所蔵している視聴覚資料や特別展開催にあわせて借用した作品の上映  
3月には今年度制作した戦争体験者の証言映像を上映

・参加者：4,310名

## (3) 親子まつり

ゴールデンウィーク、夏休み、春休み期間にアニメ映画の上映等を行った。

### ① ゴールデンウィーク

・日 時：4月28日（日）～5月5日（日） 午後2時～

・内 容：ドキュメンタリー映画「皇帝ペンギン ただいま」の上映

・参加者：124名

### ② 夏休み

・日 時：7月28日（日）～8月20日（火） 午前11時～、午後2時～  
（8月14日は午後のみ実施）

・内 容：アニメ「いわたくんちのおばあちゃん」等の上映

平和紙芝居（協力：一般社団法人てづくり紙芝居館）

- ・参加者：477名

### ③ 春休み

- ・日 時：3月25日（火）～4月6日（日） 午後2時～
- ・内 容：アニメ「凧になったお母さん」等の上映
- ・参加者：91名

## (4) 府政学習会（大阪府府政情報室との連携事業）

### ① 随時型府政学習会（今年度は参加団体なし）

### ② 公募型府政学習会

- ・日 時：8月25日（日）
- ・内 容：テーマ学習および館内見学
- ・参加者：67名

## 3. 館外利用事業

当館のアウトリーチ活動として、館外利用の促進に取り組んだ。

### (1) 出前展示

パネル・実物資料の展示、パンフレットの配布等を実施し、将来の来館につながるよう、展示内容の工夫や実施場所の開拓等に努めた。

#### ① 大阪府立中之島図書館

- ・日 時：5月8日（水）～22日（水）
- ・場 所：大阪府立中之島図書館
- ・内 容：写真パネルの展示

#### ② 大阪市立東淀川図書館

- ・日 時：5月17日（金）～6月19日（水）
- ・場 所：大阪市立東淀川図書館
- ・内 容：実物資料などの展示

#### ③ 大阪府庁本館

- ・日 時：6月14日（金）～28日（金）
- ・場 所：大阪府庁本館
- ・内 容：写真パネルの展示

#### ④ 大阪市立東住吉図書館

- ・日 時：6月21日（金）～7月17日（水）
- ・場 所：大阪市立東住吉図書館
- ・内 容：実物資料などの展示

#### ⑤ 令和6年度全国博物館長会議

- ・日 時：7月3日（水）
- ・場 所：文部科学省講堂
- ・内 容：ポスター展示

#### ⑥ 大阪市立総合生涯学習センター

- ・日 時：7月17日（水）～26日（金）
  - ・場 所：大阪市立総合生涯学習センター ギャラリーB
  - ・内 容：写真パネル、実物資料の展示
- ⑦ 大阪戦没者追悼式
- ・日 時：7月24日（水）
  - ・場 所：大阪国際交流センター
  - ・内 容：パネル展示、パンフレットの配布
- ⑧ 大阪市立旭図書館
- ・日 時：10月18日（金）～12月8日（日）
  - ・場 所：大阪市立旭図書館
  - ・内 容：実物資料などの展示
- ⑨ 中央区民まつり
- ・日 時：10月20日（日）
  - ・場 所：史跡 難波の宮跡
  - ・内 容：写真パネルの展示
- ⑩ 大阪府立中央図書館
- ・日 時：11月30日（土）～12月15日（日）
  - ・場 所：大阪府立中央図書館
  - ・内 容：写真パネルなどの展示
- ⑪ 大阪市立中央図書館
- ・日 時：1月17日（金）～2月5日（水）
  - ・場 所：大阪市立中央図書館
  - ・内 容：写真パネル、実物資料の展示
- ⑫ 大阪市立淀川図書館
- ・日 時：2月21日（金）～3月18日（火）
  - ・場 所：大阪市立淀川図書館
  - ・内 容：実物資料などの展示

## (2) 平和学習資料の貸出及び平和学習デジタルコンテンツの提供

学校、官公署、市民団体等の要請に応じ、平和学習用資料(写真パネル、空襲体験画、ビデオ、DVD等)の貸出を行った。

資料の充実に努めるとともに、特に遠方の学校等については、来館に代わる平和啓発活動の一環として広報に努めた。

また、学校における平和学習の授業で利用することができる「平和学習デジタルコンテンツ」を提供した。

- ・平和学習用資料の貸出件数：276件（利用人数 100,998人）  
（小学校 100件、中学校 56件、自治体 57件、その他 63件）
- ・平和学習用資料の貸出資料種別（延べ 541件）  
（ビデオ 8件、DVD 446件、紙芝居 3件、パネル 52件、体験画 20件、

実物資料 12 件)

・平和学習デジタルコンテンツの提供学校数： 130校

#### 4. その他の事業

##### (1) 「大阪市児童絵画・版画作品展」(大阪市小学校教育研究会図画工作部主催)

- ・日 時：7月27日(土)～8月20日(火)
- ・内 容：各校から2枚ずつ選定された作品を前期・後期に分けて特別展示室に展示
- ・参加者：展示作品の児童父兄等約1,200名

##### (2) 生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪 2024

(大阪市都市整備局企画部住宅政策課事業への協力)

- ・日 時：10月26日(土)～27日(日) 午前10時～、午後2時～
- ・内 容：ガイドツアー(館内及び屋上見学)
- ・参加者：54名

##### (3) 講堂・会議室の利用

府内の自治体(教育委員会含む)や公共的団体等が講堂や会議室にて平和・人権に関する研修会等を行う場合に、各団体の申請により施設の使用を許可し、あわせて申請があれば使用料等を免除することとして施設の有効活用を図った。

・使用許可件数：25件

<主な利用例>

###### ① 国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール(大阪ユネスコ協会主催)

- ・日 時：9月22日(日) 午後1時～午後5時
- ・内 容：外務省・公益財団法人国際連合協会主催の上記コンクールの大阪府代表を決める審査会
- ・参加者：55名

###### ② 「ユニセフシアター」(大阪ユニセフ協会主催)

- ・日 時：11月23日(木) 午後1時～午後4時
- ・内 容：「ブレッドウィナー」を上映
- ・参加者：79名

###### ③ 大阪府教員初任者研修

- ・日 時：11月12日(火)、14日(木)、26日(火)、27日(水)、28日(木)、12月3日(火)
- ・内 容：新任教員等に対する平和・人権研修
- ・参加者：約1,100名

#### 5. 「刻の庭」の管理運営

大阪空襲死没者の追悼及び恒久平和を祈念するため、2005(平成17)年度に整備した「刻の庭」の管理運営を行った。

大阪空襲死没者名簿の管理、新規登載申出の受付等を行った。

### <空襲死没者名簿（原簿）の管理>

- ・追加登載者数：2名
- ・名簿の訂正：3名
- ・登載者数計：9,159名（令和7年3月31日現在）  
（内訳）公開 9,111名（刻の庭前で公開）、非公開 48名

## 6. 資料の収集・提供

実物資料、視聴覚資料、図書資料の適切な収集と管理に努め、展示及び貸出資料への利活用を図るとともに、「収蔵品管理システム」により資料の整理、保存等を行った。令和5年度文化庁文化芸術振興費補助金 Innovate MUSEUM 事業で制作した学校向け平和学習用デジタルコンテンツ「戦争と人々の暮らし」の利用促進を図るとともに、今年度はコンテンツの機能拡充、デジタルアーカイブ資料の活用の拡充を行った。また、令和6年度文化庁文化芸術振興費補助金 Innovate MUSEUM 事業の一環として、大阪府が平成21年度に「平和情報収集・発信事業」として制作した証言映像DVD・ビデオ「大阪大空襲」のマスターデータをもとに、3名の戦争体験者の証言映像を制作した。

資料収集件数	単位：点		
	寄贈資料	購入資料	製作資料
実物資料	4	0	0
視聴覚資料	5	30	3
文書資料	8	0	0
図書資料	25	50	0
計	42	80	3

2025（令和7）年3月末の資料収集件数（収蔵検索システム登録件数）

- ・物品：11,592点  
（実物 4,953点、文書 2,075点、視聴覚 4,559点、その他 5点）
- ・図書：35,564点  
合計：47,156点

## 7. 広報・啓発

### (1) ホームページの運営

ホームページにより施設利用案内や事業広報等の情報提供を行うとともに、ホームページの更なる充実について検討を行った。

- ・アクセス数：139,303回（うち、日本は84,571回）

### (2) SNSでの情報発信

観光客の来館誘導の強化を図るため、X や Facebook で情報発信を行ったほか、YouTube で動画を公開した。

### (3) 印刷物の作成・配布

リーフレット「展示のしおり」の配布に加え、各種企画事業のチラシやポスターを適宜作成、配布するとともに、館報「ピースおおさか」を発行した。

### (4) 学校等に対する多様な媒体を活用した広報

関係組織や旅行社、来館実績のある府外学校等へダイレクトメールを送付した。府市、中核市の教育委員会等（小中学校校長会、人権担当者会議を含む）に対して、校外学習での当館への来館や貸出資料の利用を促した。

## 8. 来館者サービスの向上

学校の来館時期を分散化への協力を依頼し、見学しやすい環境を整え、学習効果を高めた。また、雨天時や寒い時期等の学校見学時に昼食場所を提供した。

外国人等から要望が多かった入館券購入にキャッシュレス決済付券売機を導入した。

アンケート結果も踏まえて、来館者のサービス向上に取り組んだ。

なお、今年度の入館者総合満足度は96.9%、学校満足度（平和学習到達度）は94.6%であった。

## 9. 自主財源（平和寄金）の確保

あらゆる機会等を通じて、平和寄金の趣旨（企画事業・特別展示等の原資）と寄附に係る税の優遇措置を説明し協力を求めた。

なお、今年度の平和寄金収入は1,356,092円であった。

「ピースおおさか友の会」会員の新規拡大に努めた。

<「ピースおおさか友の会」入会状況>

- ・個人会員：46名
- ・団体会員：6団体

## 10. 効率・効果的な事業の実施

企画事業の充実を図り、収蔵品など既存ストックの有効活用に努めつつ、効率・効果的な事業実施等を行った。

財団内部の「企画会議等」において、経費支出の精査を行い、運営コストの抑制に努めた。

府市と入館者増に向けた取組み状況・課題を整理するため、適宜、「集客等ワーキング」などを開催した。

## 11. 施設の保全・補修

ピースおおさかの長寿命化及び安全性・快適性の確保を図るため、平成28年度に作成した「施設修繕計画」（平成29年度から10年間）に基づき、補修工事を計画的に実施した。

<実施内容> エレベーターの改修工事等